2-655-508-**03**(1)

SONY®

取扱説明書

NW-E305/E307

Network Walkman

Portable IC Audio Player

Atrac3plus　MP3

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

読みたいページにジャンプするには、PDFの「しおり」を表示して項目をクリックするか、取扱説明書の「目次」で項目をクリックしてください。

WALKMAN

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

↓

安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

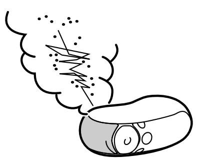
1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



➡

❶ パソコンと接続している場合は、パソコンから本機を抜く
❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　破裂

行為を禁止する記号



接触禁止　禁止



分解禁止　ぬれ手禁止

目次

基本的な使いかた

進んだ使いかた

本体の設定を変える

その他の機能

FMチューナー

その他

この取扱説明書では、ネットワークウォークマン本体の操作について説明しています。付属のSonicStageソフトウェアについては「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。
「インストール・基本操作ガイド」はSonicStageと一緒にパソコンにインストールされます。

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- “ウォークマン”、“WALKMAN” はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。
  WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- SonicStage およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（マジックゲート）およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

⚠危険　火災　破裂

この製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。
液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、
必ず下記の注意事項をお守りください。

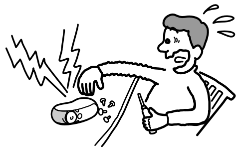
火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には54ページの指示に従ってリサイクルにご協力ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで放置しない

禁止

充電式電池が液漏れしたとき

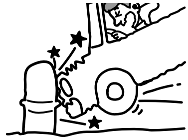
充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない



禁止

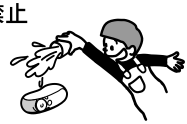


- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない



禁止



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、本機をパソコンから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり
周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

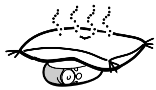
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

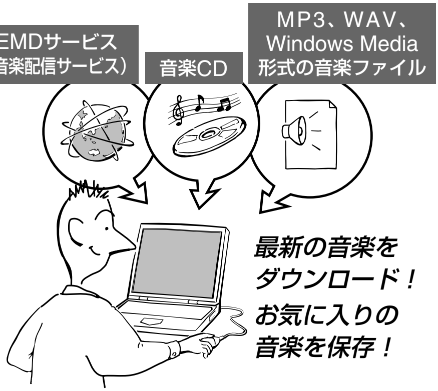
禁止



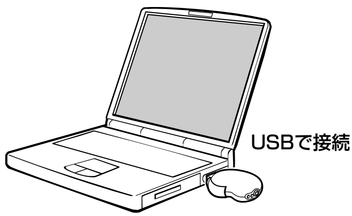
こんなことができます

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします。パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリーに転送することで、お好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。

1 パソコンに音楽を保存



2 ネットワークウォークマンに転送



3 音楽を持ち出して聞こう！



本機の主な特長

- 小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。
- 本機内蔵のUSBプラグで直接パソコンと接続。
- リチウムイオン充電池で約50時間*[1]の連続再生。
- NW-E305：512 MBの内蔵フラッシュメモリーに23時間30分以上*[2]の音楽データの記録が可能。
  NW-E307：1 GBの内蔵フラッシュメモリーに47時間00分以上*[2]の音楽データの記録が可能。
- 付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。
- 付属のSonicStageを使って、MP3形式の音楽データを手軽に本機に転送可能。
- 外国語の学習にも役立つセンテンスリピート機能。
- 漢字も表示できる有機ELディスプレイ。
  パソコンで入力した曲名などを表示可能。
- アーティスト、アルバムまたはグループで、再生したい曲を検索できるSEARCH機能。
- FMチューナー内蔵で、FM放送とテレビ放送（1～3チャンネル）が受信可能。
- 音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。

*[1] 再生する曲のデータ形式や省電力設定などにより異なります。省電力設定が「Save ON-Normal」のとき（38ページ）に、ATRAC3形式 132 kbpsで記録された曲を再生した場合。なお、電池は消耗品のため、連続再生時の電池の持続時間は徐々に短くなります。
*[2] 記録時のビットレートなどにより異なります。ATRAC3plus形式 48kbpsで記録した場合。

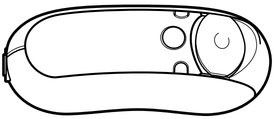
ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。
- 以下の理由により、一部の文字や記号が本機上で正しく表示されない場合があります。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  – パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  – 曲のID3タグの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

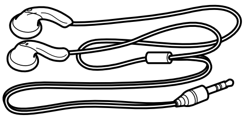
準備：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

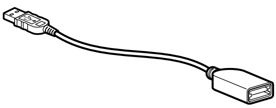
- ネットワークウォークマン本体（1）



- ヘッドホン（1）



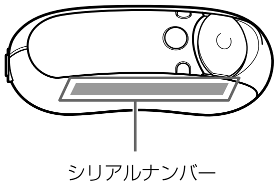
- 専用USB接続補助ケーブル（1）



- ヘッドホン延長コード（1）
- CD-ROM（1）
（SonicStage（ソニックステージ）ソフトウェア、本体取扱説明書のPDF、SonicStage（ソニックステージ）ソフトウェアの「インストール・基本操作ガイド」のPDF）
- 取扱説明書－はじめにお読みください（1）
- 保証書（1）
- カスタマーご登録のお願い（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは下図の位置のラベルに印刷されています。



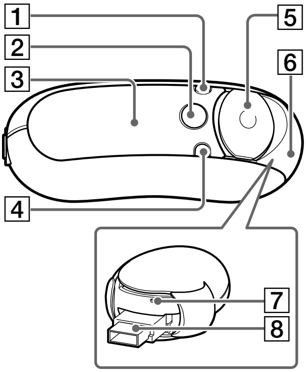
この製品についてお客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談の際、シリアルナンバーが必要になる場合があります。書き留めておいてください。
シリアルナンバーは、メニュー画面でも確認することができます（46ページ）。

各部のなまえ

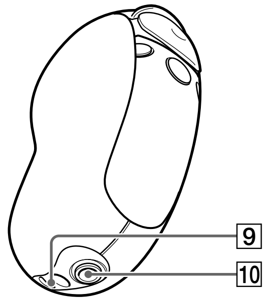
（　）内のページに詳しい説明があります。

本体

表面



裏面



1 **DISP/FM（ディスプレイ/FM）ボタン**
（29、48ページ）

2 **🗀/MENU（メニュー）（グループ/MENU）ボタン**
（21、23〜24、30〜31、34〜36、38〜46ページ）

3 **表示部**　（12、19、26、28〜29、43〜46ページ）
表示部の表示窓、アイコンの名前は、12ページをご覧ください。

4 **REP/SOUND（リピート/サウンド）ボタン**
（26〜27、31ページ）

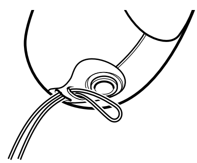
5 **5方向ジョグ**
（17、21〜24、26〜27、30〜31、34〜36、38〜46、49、51〜52ページ）

6 **スライドカバー**（14〜15ページ）

7 **リセットボタン**（55ページ）

8 **USB Aプラグ**

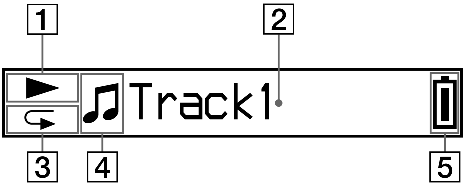
9 **ネックストラップ取り付け口**
ストラップを取り付けるときは、下記イラストのようにひもを通してください。



10 **ヘッドホンジャック**（17ページ）

次ページへつづく

表示部



1 **再生状態表示**
現在の再生状態（▶：再生中、■：停止中）が表示されます。

2 **文字情報／グラフィック表示窓**
（18ページ）
曲名／アーティスト名の表示や、時計表示（28～30、34ページ）、エラー表示（60ページ）、メニュー画面などが表示されます。
再生・停止中の表示内容は、DISP/FMボタンを押して切り換えられます（28～30ページ）。また、一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換えるように設定することもできます（38ページ）。

3 **リピートモード表示**（24ページ）
現在のリピートモードのアイコンが表示されます。

4 ：アーティスト、：アルバム、：グループ、♫：曲が表示されます（18ページ）。

5 **電池残量表示**（15ページ）
現在の電池残量が表示されます。

ヒント
FMチューナーの表示については、48ページからの「FMチューナー」をご覧ください。

パソコンからネットワークウォークマンに音楽を転送する/充電する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは
接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください（アップデートプログラムが入っている場合があります）。

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。
「取扱説明書・はじめにお読みください」をご覧ください。
「インストール・基本操作ガイド」にも詳しく説明されていますので、ご覧ください。

ヒント
「インストール・基本操作ガイド」はSonicStageと一緒にパソコンにインストールされます。

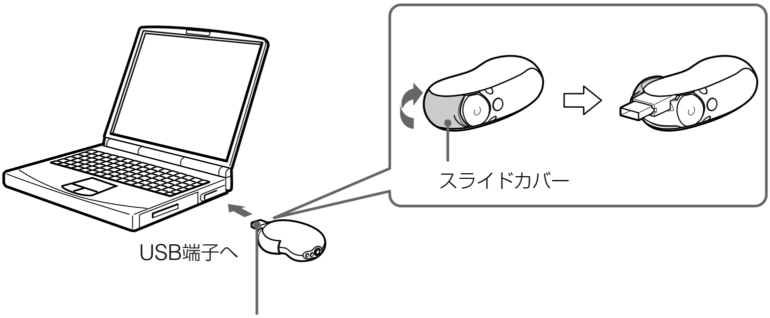
2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。

次ページへつづく

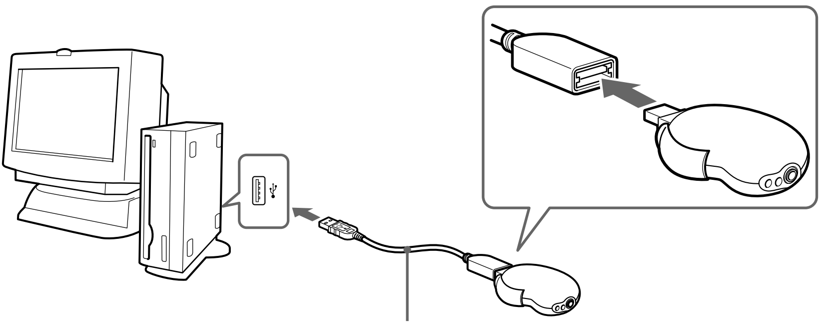
3 ネットワークウォークマンをパソコンに接続する/充電する

本機のスライドカバーを開き、本機のUSB Aプラグをパソコンの USB端子に差し込みます。本機の表示窓に「USB Connect」と表示されます。



お使いのパソコンに本機のUSB Aプラグを直接差し込めないときは

お使いのパソコンによっては、本機のUSB Aプラグを直接差し込めないことがあります。この場合は、付属の専用USB接続補助ケーブルを使って接続してください。また、本機のUSB Aプラグを直接差し込める場合でも、差し込んだときの状態が不安定で、本機やパソコンに必要以上の負荷がかかるような場合は、専用USB接続補助ケーブルを使って接続してください。

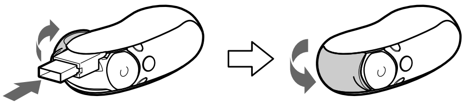


ご注意

付属の専用USB接続補助ケーブルに、本機以外を接続することはできません。

パソコンから本機を抜いたあとは

パソコンから本機を抜いたあとは、本機のスライドカバーを閉じてからお使いください。



本機はパソコンと接続することによって、充電されます。

電池残量表示が Full になったら、充電完了です（充電時間：約120分*1）。
はじめてお使いになるときは、なるべく電池残量表示が Full になるまで連続して充電することをお勧めします。

*1 USB接続方法（42ページ）が「High-500mA」に設定してあり、室温で電池残量がない状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間は異なる場合があります。また、充電時の温度が低い場合や音楽データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

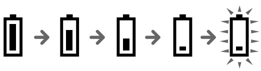
*電池の持続時間（連続再生時）**2

ATRAC3形式（132 kbps）の場合：約50時間
ATRAC3plus形式（48 kbps）の場合：約45時間
MP3形式の場合（128 kbps）：約40時間
FM放送受信時：約22時間

*2 省電力設定（38ページ）が「Save ON-Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（12ページ）の電池残量表示でお知らせします。



目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。また「LOW BATTERY」と表示された場合は、再生できません。本機をパソコンに接続して充電を行ってください。

ご注意

- 充電は周囲の温度が5～35°Cの環境で行ってください。
- 本機とパソコン間でのデータ転送中、アイコンが表示されます。アイコンが動いている間は、パソコンから本機を抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、本機のUSB Aプラグを使って直接接続するか、または付属の専用USB接続補助ケーブルを使って接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。

次ページへつづく

4 ネットワークウォークマンに音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するときの操作方法は、「インストール・基本操作ガイド」をご覧ください。

ヒント

転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、「インストール・基本操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

音楽データを転送中にパソコンから本機が抜けてしまうなどのことが原因で、転送が正常に終了しなかったとき、不要なデータが本機内に発生する場合があります。そのような場合には、パソコンに戻すことのできる音楽データ（音楽以外のデータも含む）を戻して、本機のFormatメニュー（41ページ）で、フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。

ネットワークウォークマンで音楽を聞く

あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（15ページ）、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送しておきます。

ご注意

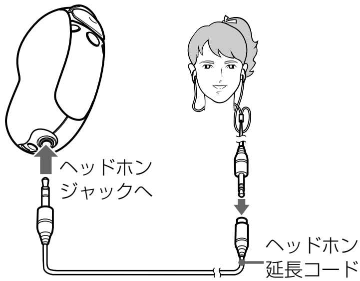
- ネットワークウォークマンを操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。
- FMチューナーの操作については、48ページからの「FMチューナー」をご覧ください。

1 ヘッドホンを装着する



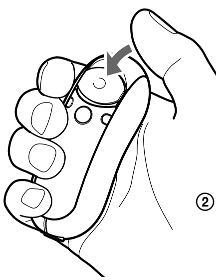
ヘッドホン延長コードご使用の場合

「カチッ」という音がするまで差し込む。



2 再生する

① 5方向ジョグの中央（►■）を押す。

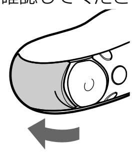


② 5方向ジョグの＞（VOL）または＜（VOL）を押して音量を調節する。

リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、最後の曲まで再生すると自動的に停止します。

再生が始まらないときは

スライドカバーがHOLDの位置になっていないことを確認してください（32ページ）。



再生を途中で止めるには

5方向ジョグの中央（►■）を押します。

音量を調節するには

音量はプリセットとマニュアルで調整できます（36〜37ページ）。

ヒント

一定時間操作がないときに、省電力画面に切り換えるように設定できます（38ページ）。

次ページへつづく

聞きたい曲を検索する（SEARCH）

本機では、アーティスト名やアルバム名などで聞きたい曲を絞り込み、検索することができます。
曲の検索方法には、以下の3つがあります。

- アーティスト名で検索する（ Artist）
- アルバム名で検索する（ Album）
- SonicStageから曲を転送したときの、グループ*で検索する（ Group）

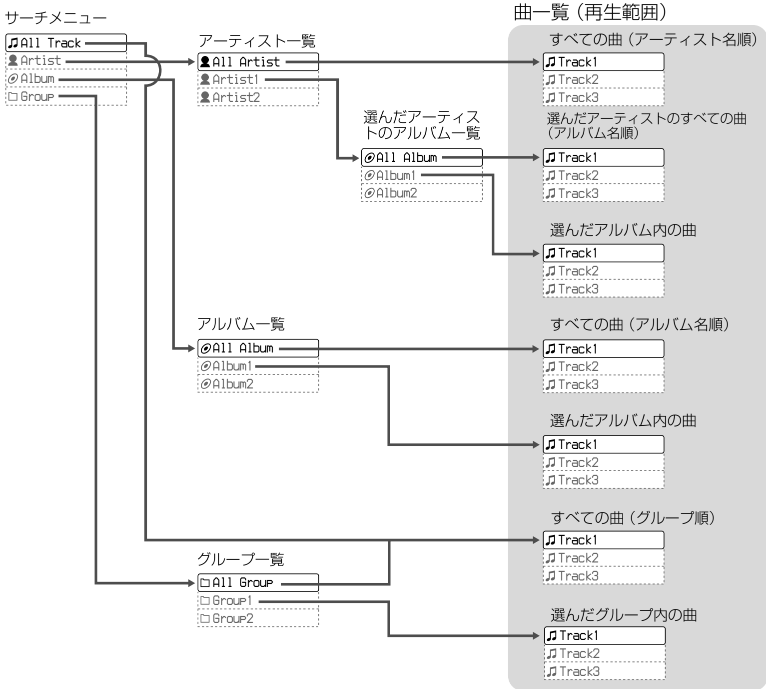
  * SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループを作って、ネットワークウォークマンの内蔵フラッシュメモリーに転送されます。

検索の流れと再生範囲

以下の操作を行うと、サーチメニューが表示されます。
① メニュー画面（「Search」）が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。
② 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Search」を選び、>（VOL）を押す。

サーチメニューでは、5方向ジョグの∧ ∨を使って項目を選び、>（VOL）を押して1階層下のメニューに進みます。1階層上のメニューに戻りたいときは、5方向ジョグの<（VOL）を押します。この操作を繰り返して、聞きたい曲を検索していきます。

検索の結果、絞り込まれた曲一覧が再生範囲（次ページのイラストの　　で囲まれた部分）となります。一覧から曲を選んで5方向ジョグの中央（►■）を押すと、その曲から再生範囲の最後の曲までが再生されます。
なお、検索の途中でメニュー項目を選んで5方向ジョグの中央（►■）を押すと、選んだ項目が再生範囲となり、再生範囲の先頭の曲から再生が始まります。


サーチメニュー
All Track
Artist
Album
Group
アーティスト一覧
All Artist
Artist1
Artist2
選んだアーティストのアルバム一覧
All Album
Album1
Album2
アルバム一覧
All Album
Album1
Album2
グループ一覧
All Group
Group1
Group2
曲一覧（再生範囲）
すべての曲（アーティスト名順）
Track1
Track2
Track3
選んだアーティストのすべての曲（アルバム名順）
Track1
Track2
Track3
選んだアルバム内の曲
Track1
Track2
Track3
すべての曲（アルバム名順）
Track1
Track2
Track3
選んだアルバム内の曲
Track1
Track2
Track3
すべての曲（グループ順）
Track1
Track2
Track3
選んだグループ内の曲
Track1
Track2
Track3

次ページへつづく

検索（SEARCH）の使用例

① サーチメニューを表示して、“Artist”を選び、5方向ジョグの>（VOL）を押す。
② アーティスト一覧から“Artist B”を選び、5方向ジョグの>（VOL）を押す。
③ Artist Bのアルバム一覧から“Album 5”を選び、5方向ジョグの>（VOL）を押す。Album 5の曲一覧が表示されます。
この曲一覧が今回の再生範囲になります。
④ 曲一覧から“♫ Track15”を選ぶ。
⑤ 5方向ジョグの中央（►■）を押す。
Track15から再生が始まります。
Track16（再生範囲の最後の曲）の最後まで再生されたあと、自動的に再生が停止します。

フラッシュメモリー内のすべての曲

Album	Artist …①	Track
Album 1	Artist A	Track01
Album 1	Artist A	Track02
Album 1	Artist A	Track03
Album 2	Artist A	Track04
Album 2	Artist A	Track05
Album 2	Artist A	Track06
Album 3	Artist B	Track07
Album 3	Artist B	Track08
Album 3	Artist B	Track09
Album 4	Artist C	Track10
Album 4	Artist C	Track11
Album 4	Artist D	Track12
Album 5	Artist A	Track13
Album 5	Artist B	Track14
Album 5	Artist B	Track15
Album 5	Artist B	Track16

②

Artist Bのアルバム一覧

Artist	Album
Artist B	Album 3
Artist B	Album 3
Artist B	Album 3
Artist B	Album 5
Artist B	Album 5
Artist B	Album 5

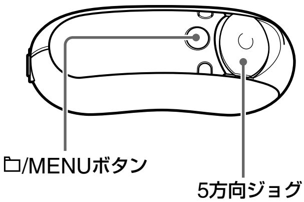
③

Album 5の曲一覧

Album	Track
Album 5	Track14
Album 5	Track15 …④
Album 5	Track16

►■ …⑤

曲を検索して再生する 〜曲をアーティストで検索する場合



1 **メニュー画面が表示されるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Search」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

サーチメニューが表示されます。



3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「 Artist 」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

アーティスト一覧が表示されます。



4 **5方向ジョグの∧ ∨を押して聞きたいアーティストを選び、>（VOL）を押して決定する。**

選んだアーティストのアルバム一覧が表示されます。



ヒント

- アーティスト一覧のいちばん上にある「All Artist」を選んで5方向ジョグの>（VOL）を押すと、すべての曲がアーティスト名順（同一アーティストの曲は、アルバム名順）に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。続けて手順6の操作を行い、曲の再生を開始してください。
- アーティストまたは「All Artist」を選んで5方向ジョグの中央（►■）を押すと、選んだ項目が「再生範囲」となり、再生範囲の先頭の曲から再生が開始されます。

次ページへつづく

ネットワークウォークマンで音楽を聞く（つづき）

5 **5方向ジョグの∧ ∨を押して聞きたいアルバムを選び、>（VOL）を押して決定する。**

選んだアーティストのアルバムの曲一覧が表示されます。このとき表示されている一覧が「再生範囲」となります。



ヒント

- アルバム一覧のいちばん上にある「All Album」を選んで5方向ジョグの>（VOL）を押すと、手順4で選んだアーティストのすべての曲が、アルバム名順に並べ替えられて表示されます（このとき表示されている曲一覧が「再生範囲」となります）。
- アルバムまたは「All Album」を選んで5方向ジョグの中央（►■）を押すと、選んだ項目が再生範囲となり、再生範囲の先頭の曲から再生が始まります。

6 **5方向ジョグの∧ ∨を押して再生したい曲を選び、5方向ジョグの中央（►■）を押す。**

選んだ曲から再生が始まります。リピートモード（24ページ）が設定されていない場合は、再生範囲の最後の曲まで再生されたあと再生が停止します。

1つ前の画面に戻るには

5方向ジョグの<（VOL）を押します。

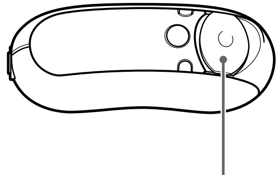
途中でサーチをやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

ヒント

同様の操作で、曲をアルバムやグループで検索して再生することができます。

その他の操作



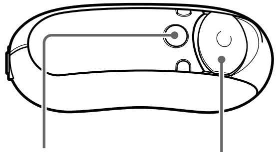
こんなときは	5方向ジョグ操作
次の曲の頭出し*1	5方向ジョグの∨を短く押す
再生中の曲の頭出し*1	5方向ジョグの∧を短く押す
早送り*2	再生中に5方向ジョグの∨を押し続け、止めたい場所で手をはなす
早戻し*2	再生中に5方向ジョグの∧を押し続け、止めたい場所で手をはなす

*1 停止中に5方向ジョグの∨（または∧）を押し続けると、次の曲（現在の曲）、さらに次の曲（前の曲）を連続して頭出しできます。

*2 早送り／早戻しを開始すると、時間の経過とともに徐々に速度が速くなります。
なお、早送り／早戻しの最大速度はCue/Revメニューで変更できます（40ページ）。

グループ操作モード

🗀/MENUボタンを押すと、グループ操作モードに入れます。



グループ操作モードでは、再生範囲の曲をアルバム単位またはグループ単位で頭出しすることができます。



こんなときは	5方向ジョグ操作
次のアルバム／グループの、最初の曲の頭出し*1*2	グループ操作モードで5方向ジョグのvを押す
再生中のアルバム／グループの、最初の曲の頭出し*1*2	グループ操作モードで5方向ジョグの∧を押す

*1 現在の再生範囲がアーティストまたはアルバムで検索した曲一覧の場合、次（または現在）のアルバムの最初の曲が頭出しされます。現在の再生範囲がグループで検索した曲一覧の場合、次（または現在）のグループの最初の曲が頭出しされます。

*2 停止中に5方向ジョグのv（または∧）を押し続けると、再生範囲内の次のアルバム／グループ（現在のアルバム／グループ）、さらに次のアルバム／グループ（前のアルバム／グループ）を連続して頭出しできます。

リピートモード

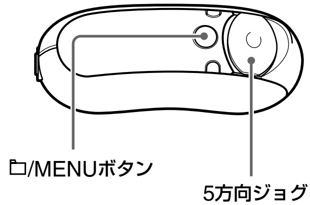
トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

- **トラックリピート(Repeat:Track)**
  曲を下記の3通りのリピートモードで再生できます。

トラックリピートモード	動作
リピート	現在の再生範囲内のすべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
シャッフルリピート	現在の再生範囲内のすべての曲が、順不同に繰り返し再生されます。

- **A-Bリピート(Repeat:A-B)**
  曲の一部を繰り返して再生します。
- **センテンスリピート(Repeat:Sentence)**
  トラックの指定ポイントのボイスデータ(センテンス)を繰り返して再生します。

リピートモードを選択する



1 **再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Repeat:」を選び、>(VOL)を押して決定する。**

「Repeat:」の設定値(リピートモード)に[ ]が付いて表示されます。



3 **5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みのリピートモードを選び、>（VOL）を押して決定する。**

リピートモードは、「Track」、「A-B」、「Sentence」の中から選べます。
「Track」または「A-B」を選んだ場合は、続けて手順5の操作を行ってください。
「Sentence」を選んだ場合は、「Repeat Count」の値に[ ]が付いて表示されます。



続けて手順4以降の操作を行ってください。

（手順3で「Sentence」を選んだ場合のみ）

4 **5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みのリピート回数を選び、>（VOL）を押して決定する。**

リピート回数は、1〜9回の間で設定できます。初期設定では、2回に設定されています。

5 **画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続ける。**

各リピートモードの操作については下記をご覧ください。

- Repeat:Track
  「曲を繰り返し再生する（Repeat:Track）」
- Repeat:A-B
  「曲の一部を繰り返し再生する（Repeat:A-B）」
- Repeat:Sentence
  「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Repeat:Sentence）」

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続けます。

ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 再生範囲を変更すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 曲の再生中、リピートモードの設定はできません。

次ページへつづく

曲を繰り返し再生する（Repeat:Track）

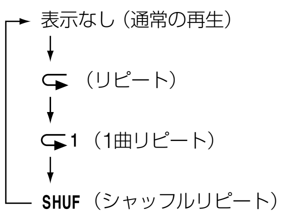
REP/SOUNDボタンを押すとトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。





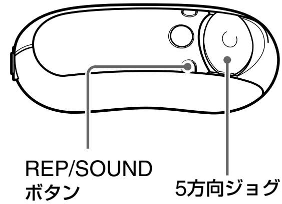
トラックリピートモード（Repeat:Track）を選択する（24ページ）。次に、REP/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。

ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように切り換わります。



曲の一部を繰り返し再生する（Repeat:A-B）

曲の再生中、繰り返し再生したい部分（セクション）の開始ポイント（A）と終了ポイント（B）を設定できます。



1 A-Bリピートモード（Repeat:A-B）を選択する（24ページ）。

2 **5方向ジョグの中央（►■）を押して曲を再生する。**

「A→」が点滅します。

3 **曲の再生中にREP/SOUNDボタンを押して開始ポイント（A）を決定する。**

「A→」が表示され、「B」が点滅します。



4 REP/SOUNDボタンを押して終了ポイント（B）を決定する。

「A→B」が表示され、指定した部分（セクション）が繰り返し再生されます。



ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント（B）が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント（B）になります。
- 開始ポイント（A）の設定後、5方向ジョグの∧（または∨）を押すと、開始ポイント（A）が解除されます。
- 開始ポイント（A）の設定後、FMチューナーに切り換えると開始ポイント（A）が解除されます。

開始ポイント（A）や終了ポイント（B）を消すには

- A-Bリピート中にREP/SOUNDボタンを押す。
- A-Bリピート中に5方向ジョグの∧（または）∨を押して、前の曲／次の曲を選ぶ。

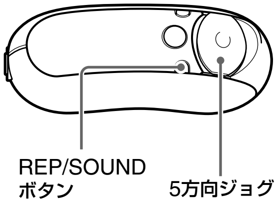
（A-Bリピートモードは取り消されません。）

A-Bリピートモードを取り消すには

メニュー画面でリピートモードを変更します（24ページ）。

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（Repeat:Sentence）

指定ポイントからボイスデータ（センテンス）のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習の際に、BGM（背景音）のない語学学習用の教材音源で効果が発揮されます。



1 センテンスリピートモード（Repeat:Sentence）を選択する（24ページ）。

2 5方向ジョグの中央（►■）を押して曲を再生する。

3 曲の再生中にREP/SOUNDボタンを押して開始ポイントを指定する。

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ（センテンス）がある部分とボイスデータ（センテンス）がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ（センテンス）は、1回（検知中）＋設定回数ぶん（25ページ）だけ繰り返されます。



次ページへつづく

ご注意

- ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合は、検知されません。
- ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後までの間でセンテンスリピートが行われます。
- センテンスリピート中に、FMチューナーに切り換えると指定ポイントは解除されます。

指定ポイントを消すには

- センテンスリピート中にREP/SOUNDボタンを押す。
- センテンスリピート中に5方向ジョグの∧（または∨）を押して、前の曲／次の曲を選ぶ。

（センテンスリピートモードは取り消されません。）

センテンスリピートモードを取り消すには

メニュー画面でリピートモードを変更します（24ページ）。

表示画面を切り換える

オーディオプレーヤーを再生中または停止中に、表示される画面をお好みに応じて切り換えることができます。表示画面の切り換えは、DISP/FMボタンで操作します。表示画面には以下の6つがあり、使用する画面をあらかじめメニューで選択できます（30ページ）。

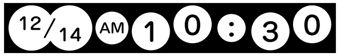
- Position：曲の再生位置表示
  通常の再生モードでは、曲の再生経過時間、現在の曲番号／再生範囲の総曲数が表示されます。グループ操作モード（23ページ）では、曲の再生時間、現在のアルバム（グループ）番号／再生範囲の総アルバム（グループ）数が表示されます。



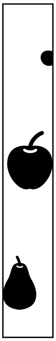
- Track Info：曲情報表示
  再生中の曲のコーデック（曲の圧縮方式）とビットレートが表示されます。



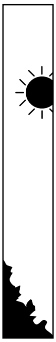
- Clock：時刻表示
  月日と現在時刻が表示されます。
  （時刻の設定方法については、「現在時刻を設定する（Date-Time）」（34ページ）をご覧ください。）



- Fruits：アニメーション表示
  以下のアニメーションが表示されます。



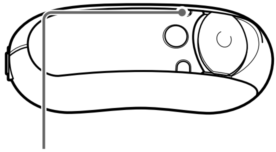
- Sky：アニメーション表示
  5種類のアニメーションが、時間帯によって表示されます「現在時刻を設定する（Date-Time）」（34ページ）。



- Water：アニメーション表示
  以下のアニメーションが表示されます。



表示画面を切り換える



オーディオプレーヤーを再生中または停止中にDISP/FMボタンを押す。

（通常表示）→Position→Track Info
Water← Sky← Fruits← Clock←

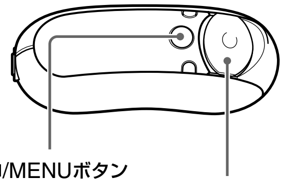
ご注意

- 上記は、Display Screenメニューで、すべての表示画面が「ON」になっている場合の表示順です。「OFF」になっている画面は表示されません。
- FMチューナーを使用中は、画面の切り換えはできません。

表示画面を切り替える（つづき）

使用する画面を選択する（Display Screen）

DISP/FMボタンを押したときに、「Position」、「Track Info」、「Clock」、「Fruits」、「Sky」、「Water」の各画面を表示するかどうかを選択できます。
Display Screenメニューで「ON」になっているものだけが表示されます。



1 メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。



2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Display Screen」を選び、>（VOL）を押して決定する。



3 「Position」のON/OFFを設定する。

① 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Position:」を選び、>（VOL）を押して決定する。
「Position:」の設定値（ON/OFF）に[　]が付いて表示されます。

② 5方向ジョグの∧ ∨を押して「ON」または「OFF」を選び、>（VOL）を押して決定する。
手順2の画面に戻ります。

4 手順2、3と同様の手順で「Track Info」、「Clock」、「Fruits」、「Sky」、「Water」のON/OFFを設定する。

5 画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

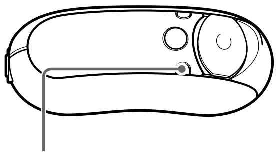
高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、オーディオプレーヤーの再生中に設定を選べます。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質	♪1 (Sound1)	♪2 (Sound2)	♪OFF (Sound OFF)
Bass（低音）	+1	+3	0
Treble（高音）	0	0	0



REP/SOUNDボタンを押し続け、「♪1」または「♪2」を選ぶ。

♪1 → ♪2 → ♪OFF

通常の音質に戻すには

「♪OFF」を選びます。

ご注意

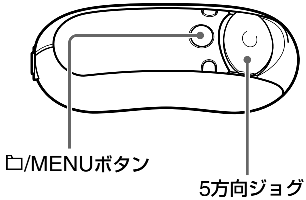
FMチューナーを使用中は、音質を選ぶことはできません。

音質を変える

Bass（低音）とTreble（高音）の2つの音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	−4 から+3
Treble（高音）	−4 から+3

「♪1（Sound1）」、「♪2（Sound2）」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。



1 メニュー画面が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。

Search

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）（つづき）

2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Sound:」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「Sound:」の設定値（♪1/♪2/♪OFF）に[　]が付いて表示されます。

3 **「♪1（Sound1）」の音質を設定する。**

① 5方向ジョグの∧ ∨を押して「♪1」を選び、>（VOL）を押して決定する。
「Bass」の値に[　]が付いて表示されます。

② 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Bass」の値を選び、>（VOL）を押して決定する。
「Treble」の値に[　]が付いて表示されます。

③ 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Treble」の値を選び、>（VOL）を押して決定する。

4 **画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続ける。**

「♪2（Sound2）」の設定を変えるには

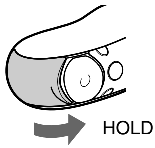
手順3の①で「♪2」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続けます。

誤操作を防ぐ（HOLD）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。

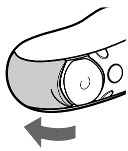


本機のスライドカバーを「HOLD」の位置にする。

操作ボタンが働かなくなります。
ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と表示されます。

ホールドを解除するには

本機のスライドカバーを矢印の方向にずらします。



音楽以外の情報を持ち運ぶ

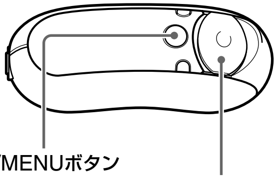
パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリーに取り込むことができます。
Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、本機内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- 本機内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外の大容量データが入っている場合、音楽データを取り込むための空き容量はその分減ります。
- Windowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリー内の[OMGAUDIO]フォルダー内にあるデータを編集しないでください。再生できなくなってしまいます。
- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。
  本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニュー（41ページ）で行ってください。

現在時刻を設定する（Date-Time）

本体の現在時刻を設定し、オーディオプレーヤーを再生中または停止中に時計を表示させることができます。



1 **メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**

```
Search
```

2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Date-Time」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「年」の値に[　]が付いて表示されます。

```
y[05]m:01 d:01
```

3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「年」の数字を合わせ、>（VOL）を押して決定する。**

「月」の値に[　]が付いて表示されます。

```
y:05 m[01]d:01
```

4 **手順3で「年」を入力したのと同様に「月」、「日」の数字を合わせ、>（VOL）を押して決定する。**

時刻設定画面が表示され、「時」の欄に[　]が付いて表示されます。

```
[00]: 00  am
```

5 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「時」の数字を合わせ、>（VOL）を押して決定する。**

「分」の値に[　]が付いて表示されます。

```
10 :[00] am
```

6 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「分」の数字を合わせ、>（VOL）を押して決定する。**

7 **画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

時計を表示させるには

DISP/FMボタンを繰り返し押して、画面表示を「Clock（時刻表示）」に切り換えます（29ページ）。
ただし、Display Screenメニュー（30ページ）で「Clock」の画面を表示しないように設定している場合は、上記の操作で現在時刻を確認することはできません。

ヒント

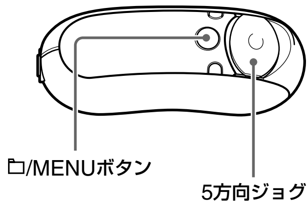
日付の表示形式は、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選択できます。また、時刻の表示形式は「12時間表示」または「24時間表示」から選択できます。詳しくは「日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）」（43ページ）、または「時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）」（44ページ）をご覧ください。

ご注意

- FMチューナーを使用中は、画面の切り換えはできません。
- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「--」が表示されます。

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



1 メニュー画面が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。



音もれを抑える（音量リミット-AVLS）（つづき）

2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「AVLS:」を選び、>（VOL）を押して決定する。

「AVLS:」の設定値（ON/OFF）に[　]が付いて表示されます。



3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「ON」を選び、>（VOL）を押して決定する。

この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

4 画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

設定をOFFにするには

手順3で「OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

ヒント

「AVLS:ON」に設定されているときは、5方向ジョグの>（VOL）または<（VOL）を押したときに「AVLS」と表示されます。

お好みの音量を設定する（Volume）

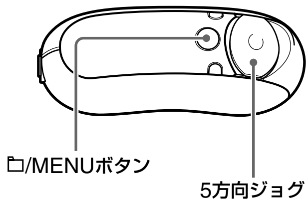
音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルボリューム：

5方向ジョグの>（VOL）または<（VOL）を押すと、32段階で連続して音量が変わります。

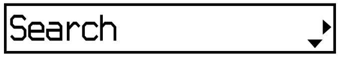
プリセットボリューム：

5方向ジョグの>（VOL）または<（VOL）を押すと、あらかじめ設定しておいたLow、Mid、Highの3段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する（Volume:Preset）

1 メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Volume:」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「Volume:」の設定値（Manual/Preset）に[　]が付いて表示されます。

```
Volume[Manual]
```

3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Preset」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「L（Low）」の値に[　]が付いて表示されます。

```
L[ 5]M:10 H:15
```

4 **L（Low）、M（Mid）、H（High）の各値を設定する。**

① 5方向ジョグの∧ ∨を押して「L（Low）」の値を選び、>（VOL）を押して決定する。
「M（Mid）」の値に[　]が付いて表示されます。

② 5方向ジョグの∧ ∨を押して「M（Mid）」の値を選び、>（VOL）を押して決定する。
「H（High）」の値に[　]が付いて表示されます。

③ 5方向ジョグの∧ ∨を押して「H（High）」の値を選び、>（VOL）を押して決定する。

5 **画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続けます。

ご注意

AVLS（35ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
AVLSを解除（AVLS:OFF）すると設定した値の音量になります。

マニュアルモードに戻すには（Volume:Manual）

1 **メニュー画面が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。**

```
Search
```

2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Volume:」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「Volume:」の設定値（Manual/Preset）に[　]が付いて表示されます。

```
Volume[Preset]
```

3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Manual」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

この設定により>（VOL）/<（VOL）による音量調節ができるようになります。

4 **画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続けます。

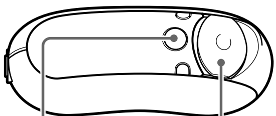
省電力設定をする（Power Save）

一定時間（約15秒）操作がないときに、省電力画面に切り換えて、画面表示を消したりできます。

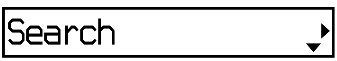
- Save ON-Normal：再生中またはFM放送を受信中に、以下のようなアニメーションが表示されます（省電力画面）。



- Save ON-Super：画面には何も表示されません。電池の消耗を最も抑えることができます。
- Save OFF：常に画面が表示されます。電池を最も消費します。



1 **メニュー画面が表示されるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Power Save:」を選び、＞（VOL）を押して決定する。**

「Save:」の設定値（ON-Normal/ON-Super/OFF）に[　]が付いて表示されます。



3 **5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みの設定を選び、＞（VOL）を押して決定する。**

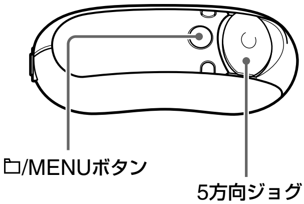
4 **画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続けます。

ピッという確認音を鳴らさないようにする（Beep）

本体の確認音を消すことができます。

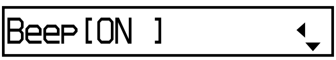


1 メニュー画面が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。



2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Beep:」を選び、＞（VOL）を押して決定する。

「Beep:」の設定値（ON/OFF）に[　]が付いて表示されます。



3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「OFF」を選び、＞（VOL）を押して決定する。

4 画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続ける。

確認音が鳴るようにするには

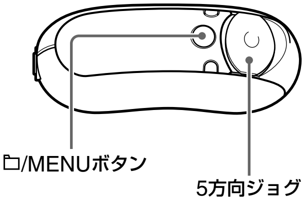
手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、/MENUボタンを押し続けます。

早送り／早戻しの最大速度を設定する（Cue/Rev）

曲の早送り／早戻しの最大速度を、「Rapid」（高速）または「Normal」（通常）の2段階で設定できます。



1 **再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Cue/Rev」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「Cue/Rev:」の設定値（Rapid/Normal）に[ ]が付いて表示されます。



3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Rapid」または「Normal」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

4 **画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**

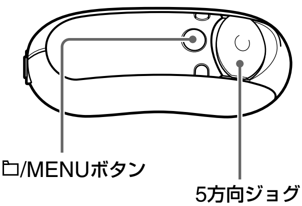
途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

メモリーを初期化する（Format）

本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）することができます。初期化すると、内蔵フラッシュメモリーに記録されている以下のデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

- SonicStageを使って本機に転送した音楽データ
- Windowsのエクスプローラなどを使って本機に取り込んだデータ



1 **再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**

Search

2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Format」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

Format[Cancel?]

4 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「OK?」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「Formatting」が表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「Complete」と表示されます。

5 **画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

初期化（フォーマット）するのをやめるには

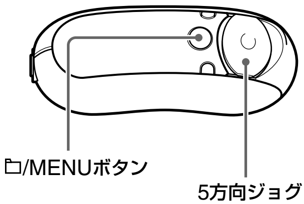
手順4で「Cancel?」を選びます。

ご注意

- 再生中は初期化（フォーマット）できません。
- Windowsのエクスプローラで本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）しないでください。
  本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）するときは、必ず本機のFormatメニューで行ってください。

USB接続方法を変える（USB）

お使いのパソコンの使用状況によっては、パソコンからの電力供給が不充分になり、パソコンから本機への曲の転送が正常に行われないなどの現象が発生することがあります。USB接続方法を「Low-100mA」に設定すると、このような現象が改善する場合があります。



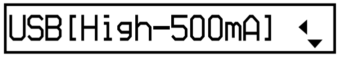
1 **再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**



2 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

3 **5方向ジョグの∧ ∨を押して「USB:」を選び、>（VOL）を押して決定する。**

「USB:」の設定値（High-500mA/Low-100mA）に[ ]が付いて表示されます。



4 **5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みの設定を選び、>（VOL）を押して決定する。**

5 **画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続ける。**

途中でメニュー操作をやめるには

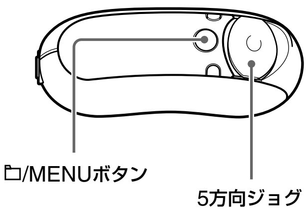
画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続けます。

ヒント

- ノートパソコンと接続するときは、ノートパソコンに電源をつなぐことをおすすめします。
- USB接続方法を「Low-100mA」に設定していると、充電時間が長くなります。

日付の表示形式を設定する（Date Disp Type）

現在時刻設定「Date-Time」において日付の表示形式を、「年/月/日」、「日/月/年」、「月/日/年」の3種類から選べます。



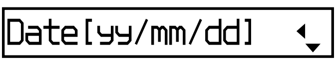
1 再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。



2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Date Disp Type」を選び、>（VOL）を押して決定する。

「Date」の設定値に[ ]が付いて表示されます。



4 5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みの設定を選び、>（VOL）を押して決定する。

「Date」の設定値は、以下の3種類から選べます。

- yy/mm/dd: 日付が「年/月/日」の形式で表示されます。
- dd/mm/yy: 日付が「日/月/年」の形式で表示されます。
- mm/dd/yy: 日付が「月/日/年」の形式で表示されます。

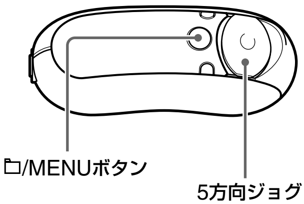
5 画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

時刻の表示形式を設定する（Time Disp Type）

時刻の表示形式を「12時間表示」または「24時間表示」から選べます。



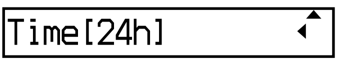
1 再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。



2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Time Disp Type」を選び、>（VOL）を押して決定する。

「Time」の設定値（12h/24h）に[ ]が付いて表示されます。



4 5方向ジョグの∧ ∨を押してお好みの設定を選び、>（VOL）を押して決定する。

5 画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

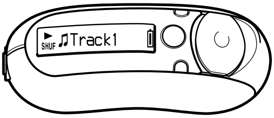
途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

画面の表示方向を設定する（Rotation）

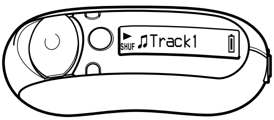
本機の画面の表示方向を、以下の2種類から選べます。

- R（Right）Hand：画面を左側、各ボタンや5方向ジョグを右側にしてお使いになる場合の設定です。



お買い上げ時には、画面の表示方向が「R Hand」に設定されています。

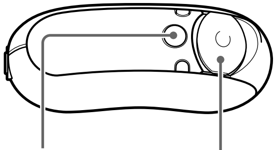
- L（Left）Hand：画面を右側、各ボタンや5方向ジョグを左側にしてお使いになる場合の設定です。



画面の表示方向が「R Hand」と「L Hand」のどちらに設定されても、5方向ジョグの機能（音楽再生中*）は、マークの向きによって下記のように決まっています。

マーク	機能
∧	再生中の曲の頭出し
∨	次の曲の頭出し
>（VOL）	音量を上げる
<（VOL）	音量を下げる

* サーチメニューモードおよびメニューモードでは、5方向ジョグは、項目を選択するために使用します。



1 **再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、/MENUボタンを押し続ける。**



その他の機能

次ページへつづく

画面の表示方向を設定する（Rotation）（つづき）

2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Rotation」を選び、>（VOL）を押して決定する。
「Rotation」の設定値（R Hand/L Hand）に[ ]が付いて表示されます。



4 5方向ジョグの∧ ∨を押して「R Hand」または「L Hand」を選び、>（VOL）を押して決定する。

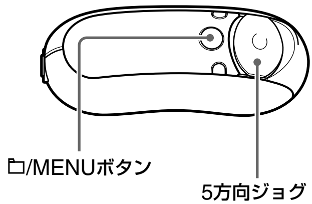
5 画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

本機の情報を表示する（Information）

本機の機種名やメモリー容量、シリアルナンバー、ソフトウェアのバージョンを表示することができます。



1 再生停止中に、メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。



2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Advanced Menu」を選び、>（VOL）を押して決定する。

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Information」を選び、>（VOL）を押して決定する。

5方向ジョグの∨を押すごとに以下の情報が表示されます。

1： 機種名
2： メモリー容量
3： シリアルナンバー
4： ソフトウェアのバージョン

4 画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続ける。

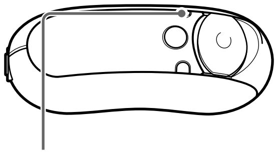
途中でメニュー操作をやめるには

画面が変わるまで、□/MENUボタンを押し続けます。

FM放送を聞く

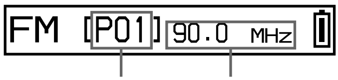
本機のFMチューナーでは、FM放送とテレビ放送（1〜3チャンネル）を聞くことができます。あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（14ページ）、ヘッドホンを装着してください。

1 FMチューナーに切り換える



DISP/FMボタン

FMチューナー画面*



＊ この画面は、お使いのものと異なる場合があります。

DISP/FMボタンを押し続ける。

FMチューナー画面が表示され、FM放送を受信することができます。

FMチューナーをやめるには

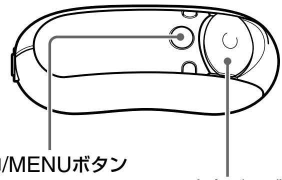
オーディオ再生画面が表示されるまで、DISP/FMボタンを押し続けます。

2 自動で放送局を登録する（FM Auto Preset）

メニューから「FM Auto Preset」を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセットに登録できます（最大30局まで）。はじめてFMチューナーをお使いになるときや、お使いになる地域が変わったときには、「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録しておくことをお勧めします。

ご注意

「FM Auto Preset」を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。



① メニュー画面が表示されるまで、⌂/MENUボタンを押し続ける。

② 5方向ジョグの∧ ∨を押して「FM Auto Preset」を選び、> (VOL) を押して決定する。

③ 5方向ジョグの∧ ∨を押して「OK?」を選び、5方向ジョグの中央 (►■) を押して決定する。

受信できる放送局が低い周波数から順番で登録されます。
登録が終了すると「Complete」と表示され、いちばん最初に登録された放送局を受信します。

自動で放送局を登録するのをやめるには
手順3で「Cancel?」を選び、5方向ジョグの> (VOL) を押します。

途中でメニュー操作をやめるには
FMチューナー画面が表示されるまで、⌂/MENUボタンを押し続けます。

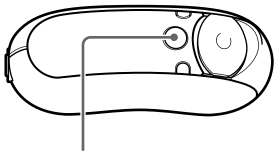
多くの不要な放送局を受信してしまうときは
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定 (52ページ) を「Scan Sens: Low」に設定してください。

FMチューナー

3 選局する

聞きたい放送局を選ぶ方法には、2つのモード (プリセット選局モード/マニュアル選局モード) があります。

- **プリセット選局モード**
  プリセット選局モードでは、登録されているプリセット番号で放送局を選ぶことができます。
  お買い上げ時には、プリセット選局モードに設定されています。
- **マニュアル選局モード**
  ⌂/MENUボタンを押すと、マニュアル選局モードになります。
  マニュアル選局モードでは、周波数で放送局を選ぶことができます。
  マニュアル選局モードからプリセット選局モードに戻すには、もう一度⌂/MENUボタンを押します。



次ページへつづく

プリセット選局



プリセット番号に[ ]が付いて表示されます。

こんなときは	5方向ジョグ操作
登録されている次のプリセット番号を選ぶ	5方向ジョグのvを短く押す
登録されている前のプリセット番号を選ぶ	5方向ジョグの∧を短く押す

ご注意

放送局を登録していない場合は、プリセット選局することができません。「FM Auto Preset」を実行して、受信できる放送局をプリセット登録してください（48ページ）。

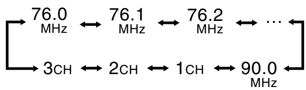
マニュアル選局



周波数に[ ]が付いて表示されます。選んだ周波数が既にプリセットに登録されているときは、そのプリセット番号も表示されます。

こんなときは	5方向ジョグ操作
次の周波数を選ぶ*1	5方向ジョグのvを短く押す
前の周波数を選ぶ*1	5方向ジョグの∧を短く押す
受信できる次の放送局を選ぶ*2	5方向ジョグのvを押し続ける
受信できる前の放送局を選ぶ*2	5方向ジョグの∧を押し続ける

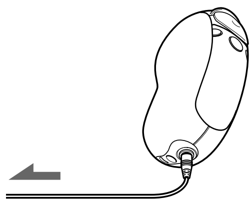
*1 5方向ジョグのv（または∧）を押すごとに周波数は次のように切り換わります。



*2 5方向ジョグのv（または∧）を押し続けると、次の（前の）放送局を探します。受信できる放送局を見つけると受信します。
普通の電波状態で受信感度が強すぎるときは、受信感度の設定（52ページ）を「Scan Sens: Low」に設定してください。

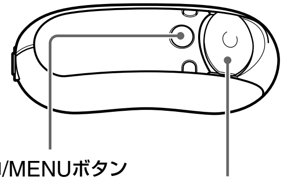
よりよく受信するには

ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。



お好みの放送局をプリセット登録する

「FM Auto Preset」（48ページ）で登録できなかった放送局を、必要に応じてプリセット登録することができます。



1 マニュアル選局で、登録したい周波数を選ぶ。

2 5方向ジョグの中央（►■）を押し続ける。

手順1で選んだ周波数がプリセット登録され、周波数の左側にプリセット番号が表示されます。

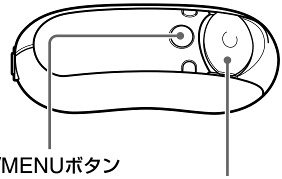
ヒント

プリセットには、最大30局（P01～P30）まで登録できます。

ご注意

プリセット番号は、常に低い周波数から順番に並べ変えられます。

登録した放送局を削除するには



1 削除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。

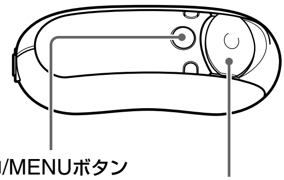
2 5方向ジョグの中央（►■）を押し続ける。

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「OK」を選び、>（VOL）を押して決定する。

登録していたプリセットが削除され、ひとつ後のプリセットが表示されます。

受信感度を変更する（Scan Sens）

「FM Auto Preset」（48ページ）や「マニュアル選局」（49ページ）を行うときに、受信感度が強すぎて、多くの不要な放送局を受信してしまうことがあります。このようなときは、受信感度を「Scan Sens: Low」に設定してください。



1 メニュー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

```
FM Auto Preset
```

2 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Scan Sens:」を選び、>（VOL）を押して決定する。

「Scan Sens:」の設定値（High/Low）に[ ]が付いて表示されます。

```
Scan Sens[High]
```

3 5方向ジョグの∧ ∨を押して「Low」を選び、>（VOL）を押して決定する。

4 FMチューナー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続ける。

受信感度を元に戻すには

手順3で「High」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

FMチューナー画面が表示されるまで、🗀/MENUボタンを押し続けます。

使用上のご注意

ご注意

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

ご使用について

- ストラップをつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ご注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機を廃棄するときのご注意

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様ご相談センター」にご相談ください。（「お客様ご相談センター」の連絡先は最終ページに記載されています。）

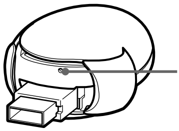
Li-ion Mn

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、最終ページに記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、右図の位置のリセットボタンを先が細く長いもの（クリップなど）で1秒以上押してください。



ヒント

リセットボタンを押しても、音楽データは失われません。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因／処置
再生音が出ない 雑音が入る	● 音量がゼロになっている → 音量を上げてください（17ページ）。 ● ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください（17ページ）。 ● ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 ● 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	● スライドカバーが「HOLD」の位置になっている → スライドカバーを中央の位置（通常モード）にしてください。 ● 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 ● 電池の残量が少ない → 充電してください（14ページ）。

その他

次ページへつづく

症状	原因／処置
転送した曲が見つからない	● 再生範囲が絞り込まれている → サーチメニューで「All Track」を選択してください（18ページ）。 ● Windowsのエクスプローラで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した → 本機のFormatメニューで、内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（41ページ）。 ● 転送中、パソコンから本機が抜けた → 使用可能なファイルをパソコンに戻し、本機のFormatメニューで、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください（41ページ）。
再生音が大きくならない	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください（35ページ）。
右チャンネルから音が出ない	● ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグをカチッと音がするまで差し込んでください（17ページ）。 ● ヘッドホン延長コードがネットワークウォークマンのヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない → ヘッドホン延長コードをネットワークウォークマンのヘッドホンジャックまたはヘッドホンコードにカチッと音がするまで差し込んでください（17ページ）。
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 充電してください（14ページ）。

表示窓について

症状	原因／処置
画面に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

充電について

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	● 5 ℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 ● 充電式電池の交換が必要 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 ● 充電時間が足りない → 本機のUSB接続方法が「Low-100mA」になっている場合は、長めに充電してください（42ページ）。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因／処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている →詳しくは「ソフトウェアインストール・基本操作ガイド」をご覧ください。
本機のUSB Aプラグをパソコンに差し込んでも、本機の表示窓に「USB Connect」と表示されない	• SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上で他のアプリケーションが起動している →しばらくしてから、本機のUSB Aプラグをパソコンに差し直してください。それでも解決しない場合は、本機のUSB Aプラグをパソコンから抜いたあと、パソコンを再起動し、再び接続してください。 • 本機のUSB Aプラグがパソコンから抜けている →本機のUSB Aプラグをパソコンに差し直してください。 • USBハブを使用している →動作の保証はできません。パソコンのUSB端子にUSB Aプラグを直接接続するか、または付属の専用USB接続補助ケーブルを使って接続してください。 • 本機のUSB接続方法が「High-500mA」になっている →USB接続方法を「Low-100mA」にしてください（42ページ）。
パソコンに接続したとき、ネットワークウォークマンがパソコンに認識されない	• 本機のUSB Aプラグがパソコンから抜けている →本機のUSB Aプラグをパソコンに差し直してください。 • 本機用のドライバをインストールしていない →本機用のドライバをインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます（13ページ）。

その他

次ページへつづく

症状	原因／処置
転送できない	● 本機のUSB Aプラグが、パソコンにきちんと差し込まれていない →本機のUSB Aプラグをいったん抜いて、差し直してください。 ● 内蔵フラッシュメモリーの残り容量が不足している →聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 ● 内蔵フラッシュメモリーに65,536曲以上または4,097グループ以上転送しようとしている →内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で65,535曲、グループは最大で4,096グループです。なお、1グループ内の曲数制限は999曲です。 ● 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向によりネットワークウォークマンに転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	本機のUSB Aプラグが、パソコンにきちんと差し込まれていない →SonicStageを終了し、本機のUSB Aプラグがパソコンにきちんと差し込まれていることを確認したあと、再度SonicStageを起動して操作してください。
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	● 内蔵フラッシュメモリーの空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている →聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 ● 内蔵フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている →内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	● 著作権保護処理を行った曲を転送したパソコンと異なるパソコンに戻そうとしている →著作権保護処理を行った曲は、転送元のパソコン以外には曲を戻せません。 ● 転送元の曲を削除した →パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲がネットワークウォークマンでも不要の場合は削除してください。

症状	原因／処置
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している →動作の保証外です。必ず、本機のUSB Aプラグを直接接続するか、または付属の専用USB接続補助ケーブルを使って接続してください。

FMチューナーについて

症状	原因／処置
FM放送がよく聞こえない	受信している周波数が適切でない →放送がもっともよく聞こえる周波数をマニュアル選局してください（50ページ）。
雑音が多く、音が悪い	● 電波が弱い →建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。 ● ヘッドホンのコードが伸びていない →ヘッドホンのコードがアンテナになります。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している →携帯電話などを本機から離して使用してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	Beepの設定が「Beep:OFF」になっている →メニューで「Beep」の設定を「Beep:ON」にしてください（39ページ）。
本体が温かくなる	充電中に本体が一時的に温かくなることがあります。

次ページへつづく

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセスしている。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーが初期化（フォーマット）されている間、表示されます。
AVLS（点滅）	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください（35ページ）。
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。
CHARGE ERROR	パソコンからの電力供給が異常である。	使用するパソコンを変えてお試しください。
EXPIRED	著作権者により再生制限をされた曲を再生しようとしている。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。
FORMAT ERROR	パソコンなどを使って、本機の内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）した。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。
HOLD	スライドカバーが「HOLD」の位置になっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、スライドカバーを中央の位置（通常モード）にしてください（32ページ）。
LOW BATTERY	電池が消耗している。	充電してください（14ページ）。
MEMORY ERROR	内蔵フラッシュメモリーに異常が認識された。	本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。

表示	意味	処置
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（61ページ）をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
NO ITEM	検索希望する項目の音楽データがない。	付属のSonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送してください。
PRESET FULL	プリセットに31局以上登録しようとした。	プリセットは最大30局まで登録できます。不要な放送局を削除してから（51ページ）、再度登録してください。
USB Connect	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageソフトウェアを使って、音楽データを転送することができます。ただし、本機を操作することはできません。
	アイコンが左から右へ動いているとき：内蔵フラッシュメモリーにアクセス中。	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときや初期化（フォーマット）しているときに表示されます。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「EXPIRED」、「FILE ERROR」、「FORMAT ERROR」、「MEMORY ERROR」、「MG ERROR」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部またはすべてのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

① ネットワークウォークマンをパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
② データの異常の原因がはっきり分かっている場合は、SonicStageで削除する。
③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲はすべてパソコンに戻す。
④ パソコンからはずして、本機のFormatメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）する（41ページ）。

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルICオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

最大録音時間

NW-E305

ATRAC3plus
約 3時間30分（320 kbps）
約 4時間20分（256 kbps）
約 5時間50分（192 kbps）
約 7時間00分（160 kbps）
約 8時間50分（128 kbps）
約11時間40分（96 kbps）
約17時間30分（64 kbps）
約23時間30分（48 kbps）

ATRAC3
約 8時間30分（132 kbps）

MP3
約 4時間20分（256 kbps）
約 8時間50分（128 kbps）

NW-E307

ATRAC3plus
約 7時間00分（320 kbps）
約 8時間50分（256 kbps）
約11時間40分（192 kbps）
約14時間00分（160 kbps）
約17時間40分（128 kbps）
約23時間30分（96 kbps）
約35時間00分（64 kbps）
約47時間00分（48 kbps）

ATRAC3
約17時間00分（132 kbps）

MP3
約 8時間50分（256 kbps）
約17時間40分（128 kbps）

サンプリング周波数特性
ATRAC3、ATRAC3plus、MP3：44.1 kHz

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）、MPEG 1オーディオレイヤー3（MP3）：32～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応

周波数特性　20～20,000 Hz（再生時、単信号測定）

FM放送受信周波数
76.0～90.0 MHz（TV 1～3CH）

アンテナ　ヘッドホンコードアンテナ

インターフェース
ヘッドホン：ステレオミニ
USB

S/N比　80 dB以上（ATRAC3 132 kbpsを除く）

ダイナミックレンジ
85 dB以上（ATRAC3 132 kbpsを除く）

動作温度　5～35 °C

電源
- 内蔵リチウムイオン充電式電池使用
- USB電源（本機のUSB Aプラグを接続して、パソコンから供給）

電池持続時間*　ATRAC3形式の場合：約50時間（132 kbps、連続再生時）
ATRAC3plus形式の場合：約45時間（48 kbps、連続再生時）
MP3形式の場合：約40時間（128 kbps、連続再生時）
FM放送受信時：約22時間

最大外形寸法　68.2 × 24.1 × 39.0 mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量　約45 g

付属品　ヘッドホン（1）
専用USB接続補助ケーブル（1）
ヘッドホン延長コード（1）
CD-ROM（SonicStageソフトウェア、本体取扱説明書のPDF、SonicStageソフトウェアの「インストール・基本操作ガイド」のPDF）（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
カスタマーご登録のお願い（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 省電力設定（38ページ）が「ON-Normal」に設定してあるときのめやすです。周囲の温度や使用状況により、上記の持続時間は異なる場合があります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

用語解説

マジックゲート
MagicGate

データの暗号化と、相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。マジックゲート対応機器とメディアの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
マジックゲート対応機器とメディアの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート対応機器とメディアが相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー
OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー
ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス
ATRAC3plus

「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいは更に高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64,000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3plusなど）の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります（ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません）。

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。音声データをCDの約1/10に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダ／デコーダが存在しており、広く普及しています。

メニュー一覧

□/MENUボタンを押し続けてメニュー画面を表示し、5方向ジョグ（∧∨で選択、>で決定）を使って、曲を検索したり、本体の設定を変えたりできます。「:」のある項目は、メニュー項目のあとに現在の設定値が表示されます。詳しくは（ ）内のページをご覧ください。

液晶の表示（メニュー項目）	設定内容
Search■▶	サーチメニューを表示して、曲を検索できます（18ページ）。
Repeat:■（リピートモードの設定）	お好みに合わせてリピートモードが選べます（24ページ）。
Cue/Rev■（早送り/早戻し速度の設定）	曲の早送り／早戻しの最大速度を設定できます（40ページ）。
FM AutoPreset◇（FMオートプリセット）	放送局を自動的に登録させることができます（48ページ）。
Scan Sens:◇（FMの受信感度の設定）	FMチューナーの受信感度を設定できます（52ページ）。
Sound:■▶（デジタルサウンドプリセット）	快適な音質レベルに設定できます（31ページ）。
Volume:■▶◇（プリセットボリューム）	あらかじめお好みの音量を設定できます（36ページ）。
AVLS:■▶◇（音量リミットの設定）	快適な音量レベルに設定できます（35ページ）。
Beep:■▶◇（確認音の設定）	「ON」または「OFF」に設定できます（39ページ）。
Power Save:■▶◇（省電力設定）	お好みに合わせて省電力の設定ができます（38ページ）。

液晶の表示（メニュー項目）	設定内容
Display Screen■▶（表示モード）	お好みに合わせて切れ換わる画面を表示するかどうかを選択できます（30ページ）。
Date-Time■▶◇（現在時刻の設定）	年月日および現在時刻を設定できます（34ページ）。
Advanced Menu■	
Format（メモリーの初期化）	本機内蔵のフラッシュメモリーを初期化（フォーマット）できます（41ページ）。
USB:（USB接続方法の設定）	お好みに合わせてUSB接続方法の切り換えができます（42ページ）。
Date Disp Type（日付の表示形式設定）	日付の表示形式を設定できます（43ページ）。
Time Disp Type（時刻の表示形式設定）	時刻の表示形式を設定できます（44ページ）。
Rotation（画面の表示方向設定）	本機の画面の表示方向を設定できます（45ページ）。
Information（本機の情報を表示）	機種名やメモリー容量、シリアルナンバーなどの情報を表示できます（46ページ）。

■ オーディオプレーヤーが停止中のときに表示されます。
▶ オーディオプレーヤーが再生中のときに表示されます。
◇ FMチューナーのときに表示されます。

索引

五十音順

次ページへつづく

数字・アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）**

  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、「必要な環境を準備する」（「ソフトウェアインストール・基本操作ガイド」）を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- **http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

お客様ご相談センター

- **ナビダイヤル ………… 0570-00-3311**

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

- **携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311**

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

- **FAX …………………………0466-31-2595**

受付時間　：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35